

Harmonium Night

ハルモニウム復活支援コンサート

ハルモニウム
西沢央子

Program

サン=サーンス
3つの小品より瞑想曲

レーガー
ロマンス イ短調

カルク=エーレルト
33の肖像より
女心 (ヨハン・シュトラウス風)
アダージョ (ブルックナー風)

ブルックナー
ベルク前奏曲

カルク=エーレルト
ソナチネ 第2番

フランク
前奏曲、フーガと変奏曲

カルク=エーレルト
ハルモニウムソナタ 第1番



今回使用するミュステル モデル3
1896年製

2022.9.16 FRI

18:15 開場

18:45 プレトーク

19:15 開演

森田歩

ハルモニウムの
基本構造を知ろう!

司会: 辻秀幸 助演: 今井奈緒子

日本キリスト教団 霊南坂教会 礼拝堂

入場無料 ※修復支援の献金を募ります

©E.Ike

日本キリスト教団
霊南坂教会
<https://reinanzaka.jp>

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目14番3号

交通アクセス
東京メトロ南北線 六本木1丁目駅下車 徒歩5分
東京メトロ銀座線 溜池山王駅下車 徒歩6分
東京メトロ日比谷線 神谷町駅下車 徒歩8分
都営バス 都01(渋谷駅~新橋駅)
赤坂アークヒルズ前下車 徒歩5分
※車でのご来会はご遠慮ください。



■主催・企画: 霊南坂教会 ハルモニウム保存会 ■お問合せ: 霊南坂教会 Tel 03-3583-0403

演奏会趣旨

霊南坂教会には、1921年に輸入されたフランスのデュモン・ルリエール製のハルモニウム(足踏式オルガン)があります。奉獻以来、震災、戦災そして会堂移築という時代の波をこえて、100年後のいまにその姿を伝えています。近年は老朽化のため奏鳴不能になっていましたが、オランダ人ルイ・ハーフェナー氏による2019年の技術調査で完全復旧が可能と診断されたことから、教会内の有志が復活保存活動を立ち上げました。いまはオランダで修理が進んでいます。過去の改修で失われた機能を復活させた完全な姿で帰ってくれば、教会の礼拝奏楽に厚みを与えるのみならず、生きた技術遺産として、演奏を志す音楽家や楽器の歴史の研究者にも貴重な存在となることは間違いありません。

このハルモニウムは、いまから100年前、レンガの旧会堂の献堂にあわせて当時の教会員から寄贈されました。

今回の修復事業も有志の献金によって支えられています。ほぼ同じ時期に製造されたフランスのミュステル社製のハルモニウムの演奏で、修復後のデュモンの奏鳴を思い描いていただき、さらなる皆様のお支えを賜るために、支援コンサートを企画しました。

出演者プロフィール



ハルモニウム

西沢央子 Nakako NISHIZAWA

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学器楽科を卒業。

2017年、下野竜也指揮アンサンブル・ヴァガボンドのマーラー大地の歌(シェンベルク編曲室内楽版)公演においてハルモニウム奏者としてデビュー。

以降ハルモニウムを使ったオーケストラ、室内楽作品に意欲的に取り組んでいる。



助演

今井奈緒子

Naoko IMAI

©E.Ikc

東京藝術大学、ドイツ・フライブルグ音楽大学オルガン科卒業。ソロ活動のほか、通奏低音・アンサンブル奏者としても活躍中。現在東北学院大学教養学部教授、大学オルガニスト、同宗教音楽研究所々長。日本キリスト教団霊南坂教会オルガン主任。一社)日本オルガニスト協会会長、日本オルガン研究会会員。一財)キリスト教音楽院評議員。霊南坂教会員。



司会

辻秀幸

Hideyuki TSUJI

東京藝術大学声楽科及び同大学院独唱科修士課程修了。ミラノを中心に欧州音楽遊学。伊・独・日本歌曲を中心にリサイタル活動を展開。宗教曲、邦人作品を中心に現在指導指揮にあたるアマチュア合唱団は16団体を数える。日本合唱指揮者協会理事。東京都合唱連盟理事長。(社)Harmony for JAPAN理事。東京藝術大学・国立音楽大学・洗足学園音楽大学各講師。霊南坂教会員。



プレートク

森田歩

Ayumu MORITA

1951年創業の森田ピアノ工房を継承し、1900年前後の欧米のピアノを中心に、リードオルガン、自動ピアノ、ハーブ、チェレスタなど多数の楽器修復に取り組む。ハルモニウムの修復は2006年10月の京都フィルハーモニー室内合奏団の依頼に始まり、減圧方式のリードオルガンとは逆の構造に造詣を深めた。今回ハーフェナー氏の指名により霊南坂ハルモニウム修復の日本側技術チーフをつとめる。

霊南坂教会ハルモニウムの略史

- 1921年 二代目会堂(レンガ造)の献堂にあわせて信徒の寄贈によりフランスから輸入される。
- 1946年 エクスプレッションと手漕ぎ機構を撤去して電動送風機を装備
- 1986年 赤坂アークヒルズ開発にともない修理のうえ新会堂へ移設
- 1995年 記録に残る最後の演奏
- 2019年 ハーフェナー氏により修復可能の診断を受ける
- 2021年 ハルモニウム保存会が修復計画を立案し役員会承認をとる
- 2022年 募金活動開始とともに、ハルモニウムは修復のためオランダへ発送

修復計画概要

着工: 2022年4月 竣工: 2022年11月

奉獻: 2022年12月

総経費: 1250万円

活用計画: 礼拝奏楽の他、結婚式、葬儀、演奏会、学生の教材、国内の博物館登録など予定

支援献金のお願い

当コンサートは入場無料ですが、霊南坂教会ハルモニウムの修復を応援してくださる方からの献金をお受けします。霊南坂教会ホームページからオンライン献金も可能です。

